

平成30年度第2回鳴門市水道事業審議会 会議概要

開催日時：平成30年11月22日（木）午前10時から午前11時20分まで

開催場所：鳴門市水道会館3階第1会議室

出席者：審議会委員11名

【玉有会長、犬伏委員、金委員、久米委員、五島委員、多智花委員、
中岸委員、出口委員、原委員、益岡委員、利穂委員】

鳴門市4名

【鈴江企業局参事兼水道企画課長、事務局3名】

傍聴者1名

開催次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 前回審議会の会議概要及び答申について
 - (2) 水道料金等について
 - (3) 平成29年度決算状況について
 - (4) 鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況について
 - (5) 浄水場の共同化について
 - (6) 次回開催について
- 3 閉会

会議資料

開催次第

水道事業審議会委員名簿

平成30年度第1回鳴門市水道事業審議会会議概要

答申書

浄水場カード（4種類）

水道料金等改定に関する戸別配布用ちらし

【資料1】水道事業説明会の結果概要

【資料2】水道料金の改定について

【資料3】加入金の改定について

【資料4】財政計画（現行・料金改定後）

【資料5】鳴門市水道事業ビジョン 主な項目の取組状況

【資料6】鳴門市・北島町の浄水場共同化について

会議概要

- 1 市自治振興連合会会長の変更のため、益岡委員の紹介を行った。
- 2 議事（１）について、平成３０年度第１回鳴門市水道事業審議会会議概要を用いて、前回審議会の内容について整理を行った。また、答申書を用いて答申内容の整理を行った。
- 3 議事（２）について、資料１から３を用いて、事務局より内容の説明を行った。
- 4 議事（３）について、資料４を用いて、事務局より内容の説明を行った。
- 5 議事（４）について、資料５を用いて、事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。質疑の概要は別紙のとおり。また、久米委員より広域化について説明があった。
- 6 議事（５）について、資料６を用いて、事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。質疑の概要は別紙のとおり。また、久米委員より国の財政支援等について説明があった。
- 7 議事（６）について、次回は来年度開催を予定しており、具体的な内容及び日程は後日に改めて日程調整を行うと事務局より説明を行った。

【別紙：質疑概要】

・議事（４）鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況について

（委員）

徳島新聞に県内水道事業体の広域化を県が推進するという記事があったが、そのことについて詳しく教えていただきたい。

（会長）

県職員の久米委員よりこのことに関する徳島県の考えなどについて説明をお願いしたい。

※久米委員より広域化について説明があった。

（会長）

管路の更新率について、目標値は更新率1.5%を掲げているが、平成29年度、平成30年度は1.2%で目標値を下回っていることに関して何か理由があるのか。

（事務局）

鳴門市水道事業ビジョンに掲げる管路の更新率の目標値については、実使用年数のおおむね60年で更新することを想定し1.2%を設定している。現在は重要な基幹管路などの口径の大きい管路を優先的に更新しているため、事業費に対して更新距離が比較的短くなり更新率が目標値を下回っている。アセットマネジメントの結果では毎年約8億円の事業費を投資すれば目標は達成できると見込んでいることから、計画的に事業が進んでいること変わらないためご理解いただきたい。

・議事（５）浄水場の共同化について

（会長）

広域化に関して、3事業体以上でなければ国の財政支援が手厚く受けられないと聞いたが、そのことに関して久米委員より説明をお願いしたい。

※久米委員より国の財政支援等について説明があった。

（事務局）

市としても、鳴門市水道事業ビジョンの取り組み項目にあるとおり、厚生労働省で交付金の活用について意見交換を行い、積極的に財源の確保に努めている。

また、今年の豪雨災害などを受けて、緊急連絡管等の整備の検討も含めて、近隣市町で水道施設の状況について情報交換を始めたところである。